

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成30年1月24日

計画の名称	木曾川右岸流域における水循環のみちの実現		
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度 (5年間)	交付対象	岐阜県
計画の目標			

下水道施設の増設及び改築更新を行い、水の安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。

計画の成果目標（定量的指標）

①処理施設増設により、処理能力を77% (H23) から88% (H27) に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考			
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)				
① 処理施設増設による処理能力 水処理施設処理能力 (m3/日最大) / 全体計画汚水量 (m3/日最大)	77%	83%	88%				
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,330百万円	A	2,330百万円	B	C	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
	平成30年1月24日
岐阜県事業監視委員会に意見を聴取	公表の方法
	岐阜県ホームページにて公表予定

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
A1-1-1	下水道	一般	岐阜県	直接	岐阜県	水処理	増設	水処理施設 (水質保全)	23～25池 (30,000t/日)	岐阜県						920	
A1-1-4	下水道	一般	岐阜県	直接	岐阜県	水処理	増設	ろ過池設備増設(水質保全)	2系6池(15,000t/日)	岐阜県						270	
A1-1-8	下水道	一般	岐阜県	直接	岐阜県	汚泥処理	増設	貯留槽(資源循環)	貯留槽2槽	岐阜県						100	
A1-1-9	下水道	一般	岐阜県	直接	岐阜県	水処理	改築	各施設 電気設備更新(水質保全)	流入P棟、受配電棟、放流P棟、送風機棟、管理本館	岐阜県						400	
A1-1-10	下水道	一般	岐阜県	直接	岐阜県	水処理	改築	送風機棟 設備増強(水質保全)	No.2増強更新	岐阜県						230	
A1-1-11	下水道	一般	岐阜県	直接	岐阜県	水処理	増設	放流ポンプ棟増設(水質保全)	塩素混和池	岐阜県						90	
A1-1-13	下水道	一般	岐阜県	直接	岐阜県	水処理	増設	分配槽設備増設(水質保全)	可動堰2門	岐阜県						50	
A1-1-14	下水道	一般	岐阜県	直接	岐阜県	水処理	増設	導水渠 増設(水質保全)	4系	岐阜県						30	
A1-1-15	下水道	一般	岐阜県	直接	岐阜県	水処理	増設	水処理脱臭設備(水質保全)	4系	岐阜県						80	
A1-1-16	下水道	一般	岐阜県	直接	岐阜県		全種	効率的な事業実施のための検討	検討資料作成 一式	岐阜県						60	
A1-1-17	下水道	一般	岐阜県	直接	岐阜県	水処理、汚泥処理	改築	長寿命化調査・設計(長寿命化・処理場)	計画・調査・設計	岐阜県						80	
A1-1-18	下水道	一般	岐阜県	直接	岐阜県	水処理	改築	流入ポンプ棟 設備更新(水質保全)	機械・電気設備	岐阜県						20	
小計 (下水道事業)															2,330		
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 24池、25池の増設時期を見送ったことにより、目標値を達成することができなかったが、23池を増設したことで現状の流入量を処理することができ、概ね水の安全・安心、快適な暮らしを実現し良好な環境を創造することができるため、事業効果は発現されたと考える。 													
II 定量的指標の達成状況	指標①処理施設増設による処理能力	最終目標値	88%	目標値と実績値に差が出た要因	水処理施設の増設時期について、直近の流入量を十分に踏まえ判断するように国から通知があり、今後の流入量見込みを考慮した結果、24池、25池の増設時期を見送ったため。 目標値：【(1池～25池 処理量219,000m ³ /日/計画汚水量249,500m ³ /日)×100=87.7】 実績値：【(1池～23池 処理量208,000m ³ /日/計画汚水量242,000m ³ /日)×100=85.9】										
		最終実績値	86%												
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因											
		最終実績値													
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因											
		最終実績値													
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)															

3. 特記事項 (今後の方針等)

平成28年度以降も新たな社会資本総合整備計画において、引き続き事業の進捗を図り、施設の信頼性を確保することにより、安全・安心な県土づくりに努めていく。